

ノスタルヒア

(hace 時間：～前に・yo era niño：私の子供時代) 何年も前、私が子どもだったころ、私の家族と私はある小さな村に住んでいた。その村は海岸にあった。朝、私は祖父と釣りに行っていた。私たちは小さいボートを漕いだ。(todos los días：毎日) 毎日4時間釣りをして、それから港に帰った。

港では漁師の妻たちが網を根気強く修理していた。漁師が魚を売っている間、私はその漁師たちを興味津津で眺めていた。(e⇒y：imaginábamosの頭文字iによって変化している) たいてい午後は私の二人の友達と一緒に村を歩き回った。私たちは遊んだり、大きなクジラを獲ることを想像したりした。

祖母はいつも陽気に見えた。祖母は私に勇敢な船乗りの昔話をしてくれた。(muchoはgustabaを修飾。とても好きだった。・escucharlos=los escuchar) 私はそれらを聞くのがとても好きだった。

(conmigo=con+mí) ある野良犬がいつも私についてきた。その犬はいつも寂しげに水平線を眺めていたので、私はその犬をノスタルヒアと呼んでいた。私はその犬が誰かの帰りを待っているんだとそう思っていた。今、ノスタルヒア、すなわち郷愁は私のためのものだ(今となっては郷愁を感じているのは私自身だ)。